

第6次川島町総合振興計画 基本構想・基本計画 (第2期川島町まち・ひと・しごと創生総合戦略) 原案策定資料

・本資料は、第6次総合振興計画**原案に記載する内容**をまとめたものです。

・「川島町総合振興計画書デザイン作成支援業務」受託者にて全体のデザイン企画やページレイアウト、文書校正等を行います。

・デザイン作成等を行った計画書を最終原案とし、基本構想部分の議決を得ます。

・その後、町長決裁の上、計画書の策定とします。

令和3年6月15日時点
政策推進課

●町章

川島の「川シマ」を図案化したもので、町の発展と融和を象徴しています。昭和37年5月に募集をし、昭和37年6月5日に審査会を行い、群馬県草津町の桜井由紀江さんの図案が採用されたものです。



●町の木…もくせい

家の庭などに植えられる常緑樹です。花は秋に咲き、よい香りを漂わせてくれる昔から親しまれている木です。



●町の花…はなしょうぶ

水田地帯である本町に多く植えられ、愛好されています。初夏には、紫・白・紫紅の大きな花をつける、繁殖力のあるアヤメ科の代表的品種です。



●町の鳥…ひばり

早春に、にぎやかにさえずりながら空高く舞いあがるさまは、川島の春の風物詩ともいえます。ひばりは「あげひばり」といわれ、縁起のよい鳥といわれています。



川島町町民憲章

わたくしたちのかわじまは 古く成り立ちのとき以来 住民の結束により発展してきました

わたくしたちは このかわじままちをこよなく愛し 教養を高めスポーツに親しみ いっそう住みよいまちにするため ここに町民憲章を定めます

- 一 かわじまを守る堤は 心のきずな
- 一 かわじまを生かす きれいで豊かな自然
- 一 かわじまを築く力は 働くこの手
- 一 かわじまの伝統受け継ぎ 創ろう文化
- 一 かわじまの宝だ 伸ばせ子供たち

川島町スポーツ都市宣言

わたしたち川島町民はスポーツを愛し、スポーツを親しみ、スポーツを通じて、より健康の増進を図り、よって住みよいふるさとを建設するため次の目標をかかげて、ここに「スポーツ都市」を宣言いたします

- 一、町民すべてがスポーツを親しみ実践しよう。
- 一、力をあわせてスポーツのできる場と環境を確保しよう。
- 一、スポーツを通じて社会連帯感の高揚を図るため、地域にも職場にもスポーツの場と機会をつくろう。

昭和52年1月16日 川島町

生涯学習推進のまち宣言

わたくしたち川島町民は
生涯にわたり健康で楽しく学び合い
思いやりと心のきずなを大切に
仲良く助け合う家庭をつくり
明るく心豊かな人生が送れる
ふるさと文化の香るまち「かわじま」の実現をめざします
町制20周年にあたり
「生涯学習推進のまち」とすることを宣言します

平成4年11月3日 川島町

川島町平和都市宣言

四方を川に囲まれた豊かな自然の中で、安らぎに満ちた平和な日々を送ることが、川島町民すべての願いです。

しかしながら、今なおこの地球上では、戦争や悲惨な争いなどにより多くの尊い命が奪われています。

私たち川島町民は、戦争の惨禍が繰り返されることのないよう、次世代にも平和の尊さを訴え続けていかなければなりません。

私たち川島町民は、美しい郷土、恵まれた自然、豊かな生活を、未来を生きる子どもたちに継承していくために、町民の心をつなげて平和への誓いを新たに、ここに「平和都市」を宣言します。

平成30年10月1日 川島町

1 はじめに

1) 総合振興計画策定の趣旨

Ⅰ 策定にあたって

本町は、昭和47（1972）年に「川島町総合振興計画」を策定し、社会情勢の変化に伴う町民ニーズや課題に対応するため、「第5次川島町総合振興計画」まで、計画を見直しながらまちづくりを進めてきました。

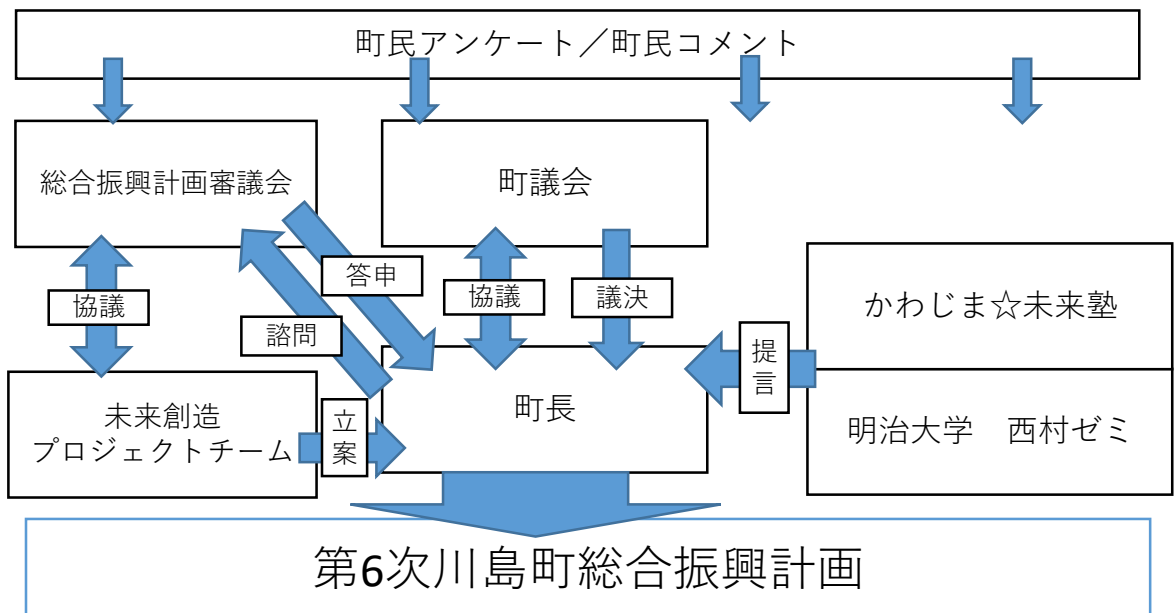
この間、人口減少社会の本格的な到来や高齢化の加速化、大規模災害の増加など、本町が乗り越えなければならない課題は年々増加の一途を辿っています。

こうした社会情勢の変化に適応し、20年、30年先も町民の皆さまが安心して過ごせるよう、新たなまちづくりの道標となる「第6次川島町総合振興計画（以下、「本計画」という。）」を策定しました。

策定にあたっては、「町民アンケート」の実施により町民ニーズの分析を行い、各分野で活躍する委員で構成された「川島町総合振興計画審議会」からの意見や、同審議会を通じて本計画策定に係る共同研究を行った「明治大学西村ゼミナール」からの研究報告、また、町内で政策研究を行う「かわじま☆未来塾」からの提言などを本計画に反映しました。そして、基本構想については川島町議会による議決を経るなど、町民や民間事業者、議会議員、そして町職員が一丸となって策定に取り組みました。

このように策定した本計画は、「誰もがわかりやすく、実効性のある計画」とすることをテーマに作り上げました。計画の実現に向かって、みんなでともに歩んでいきましょう。

Ⅱ 策定体制



Ⅲ 計画の構成・期間

基本構想

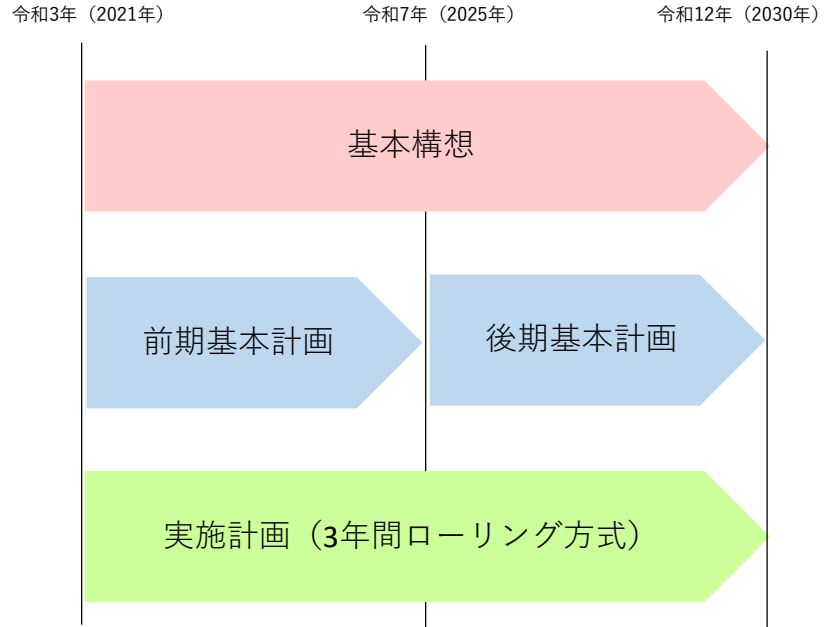
基本構想は、令和3(2021)年度から令和12(2030)年度まで10年間を展望し、まちづくりの方向性や将来像を示すものです。

基本計画

基本計画は、基本構想の計画期間を前半5年間と後半5年間に分け、それぞれの期間で将来像の実現に向けた各施策の方向性、目標などを示すものです。

実施計画

実施計画は、基本計画で示す施策の効果的な実現に向けた具体的な事業を示すものです。計画期間を3年間とし、1年ごとに財政計画を基に内容を見直した上で公表します。

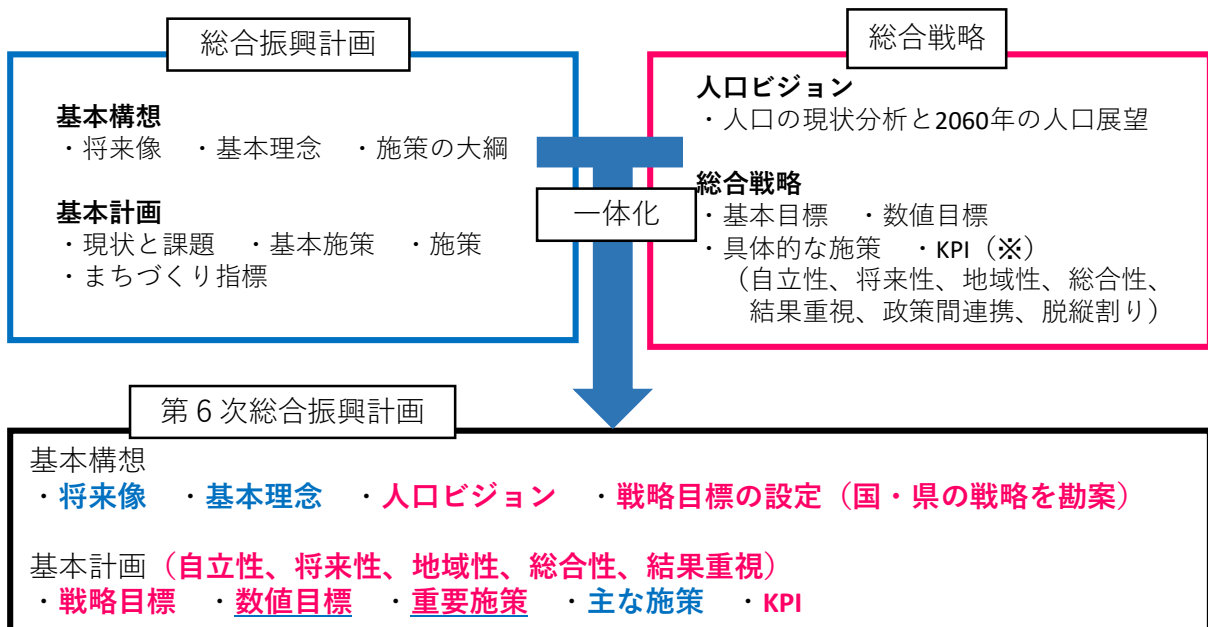


Ⅳ 本計画と第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の一体化

本計画は、町の最上位計画であり、総合的かつ計画的な町政運営を図るための計画です。

一方、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、少子高齢化と人口減少に的確に対応し、町が将来にわたり持続可能なまちづくりを進めるための計画です。

両計画は、まちづくりの今後を考えるにあたって共通した考え方を持つことから、それぞれ個別に策定するのではなく、一体的に策定することとします。



※Key Performance Indicator (重要業績評価指標) の略で、施策ごとの進捗状況を検証する指標のこと。

2) 川島町の今（現状）

町の現状を次の指標を基に把握し、問題点などを分析します。

	現状把握の指標	過去数値	現状値	問題点等の分析
1	社会減（転出超過）	△135 (2014)	△216 (2020)	若い世代が就職を機に町を離れてしまう。
2	老年人口（高齢化の進行）	5,771人 (2014)	6,967人 (2020)	急速な高齢化により社会が変化していく。
3	交流人口	53,000人 (2015)	56,177人 (2019)	観光流入が伸びず経済が活性化していない
4	昼夜間人口比率	92.9% (2010)	103.1% (2015)	雇用の創出等により、町外者の日中滞在が増加している。
5	小中学生の人数	1,490人 (2016)	1,243人 (2020)	将来的な生産年齢人口の減少が懸念される
6	農地集積率	1.9% (2016)	33.0% (2020)	集積が進み農業経営の効率化が期待される
7	農業就業者	1,348人 (2000)	671人 (2015)	継承者が減少し、衰退が進んでいる。
8	商工業就業者	10,018人 (2009)	11,025人 (2016)	従業員数の増加による地域経済の活性化が期待される。
9	農業生産算出額	28億円 (2014)	24億円 (2018)	生産者の減少により衰退が懸念される
10	福祉ボランティアの人数	24人 (2015)	26人 (2020)	需要に対して十分なボランティアがいない
11	国民健康保険年間医療費	2,055,044千円 (2016)	195,889千円 (2020)	健康長寿の取組により、医療費が抑制傾向にある。
12	小中学生の学力（県平均以上の科目数）	2/14科目 (2015)	3/14科目 (2020)	学力が県平均を下回っている。
13	情報教育充実への意識	7.3% (2015)	21.7% (2020)	デジタル化など情報教育への期待が高まっている。
14	災害時要支援者数	670人 (2016)	1,064人 (2019)	災害の際に不安を抱える要支援者が増加している。
15	町HPのアクセス数	-	738,633件 (2020)	閲覧数が年々増加している。モバイルによるアクセスも増加している。（63.6%）
16	マイナンバーカード普及率	-	21.1% (2020)	普及が進まずデジタル化の支障となっている。（全国20.2%）
17	経常収支比率	82.9 (2014)	85.6 (2019)	町の財政は概ね健全に運営されている。

3) 川島町に必要なこと（課題）

現状分析を基に、まちづくりの課題を次の通り設定します。

①持続可能なまちづくり

- ・ 町民、行政、民間企業の協働による災害対策
- ・ SDGsに対応した循環型社会の形成
- ・ 誰もが安心して暮らせる地域福祉の環境整備
- ・ 町民の移動に対する利便性の向上
- ・ 公共施設の中長期的な視点に基づく運用

②つながり（コミュニティ）の強化

- ・ 気軽に集える場や機会の創出
- ・ 生涯にわたり活躍できる場の創出
- ・ 多文化共生に向けた環境整備
- ・ 多様な媒体による効果的な情報共有
- ・ マイナンバーカードの普及徹底

③新たな価値の創出

- ・ 町の将来を見据えた戦略的な土地利用（地域活性化、空き家活用等を含む）
- ・ 地域産品の流通網の多様化
- ・ 観光拠点の結びつき強化
- ・ 新たな関係人口の創出

④教育・子育ての推進

- ・ 子育て支援環境の拡充
- ・ ICT（※）を活用した情報教育の充実
- ・ 誰もがいきいきと学習できる機会の提供

※Information Communication Technologyの略で、通信技術を活用したコミュニケーションのこと。

⑤政策間連携の強化

- ・ 社会情勢の変化に柔軟に対応できる業務体制の整備
- ・ 多様な住民ニーズを捉えた政策の立案

5 基本構想

現状分析に基づき設定された課題の達成に向け、まちづくりの方針となる「基本構想」を、次の通り整理します。

1) 2030年のまちの姿

計画期間終了時の本町の将来像を次の通り設定します。

①安全・安心な暮らしが未来へ続く希望のあるまち

自然が豊かで安心して暮らせる地域社会が守られ、町民に寄り添った持続可能な行政サービスが提供されています。

■将来像実現のキーワード「守る、持続」

②人と人の温かいつながりを感じることができるまち

様々なコミュニティやコミュニケーションの手段があり、町民一人ひとりがつながり合っています。

■将来像実現のキーワード「つながり、町民一人ひとり」

③元気な産業と働く人の活力に満ちあふれたまち

町の特長を活かした産業が新たな雇用や関係人口を創出し、にぎわいや活力をもたらしています。

■将来像実現のキーワード「創出、地域経済」

④未来へはばたく人財が育つまち

充実した教育環境により、町民一人ひとりが互いに称え合い、高め合う文化が醸成されています。

■将来像実現のキーワード「育てる、教育、人財」

2) 基本理念

町全体でまちづくりの方向性を共有するため、基本理念を掲載します。

※会議当日に提示します。

5 基本構想

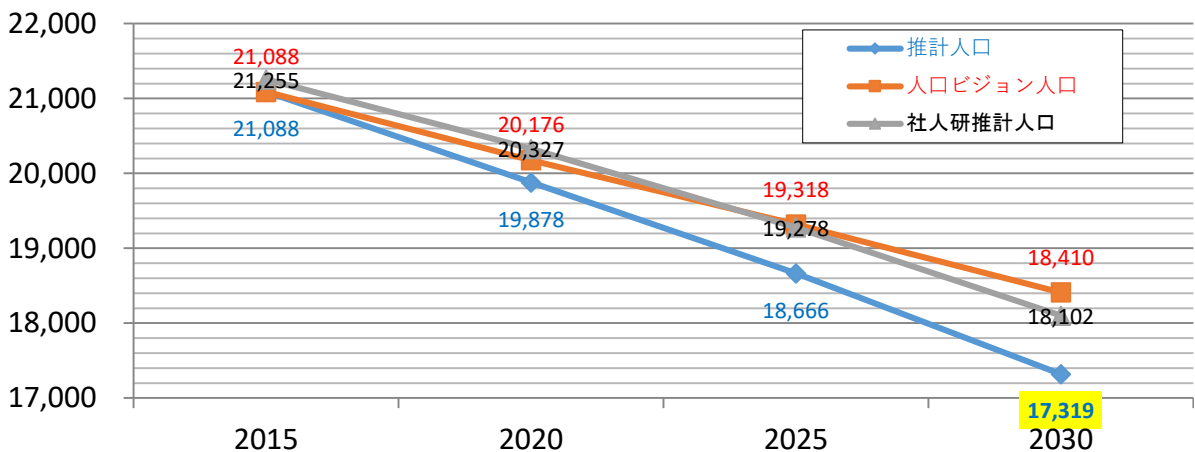
3) 将来推計人口（川島町人口ビジョン）

本町の総人口は、平成12（2000）年の23,732人をピークに減少を続けています。少子高齢化を背景とした人口減少は全国的な傾向であり、本町としても避けられない状況です。

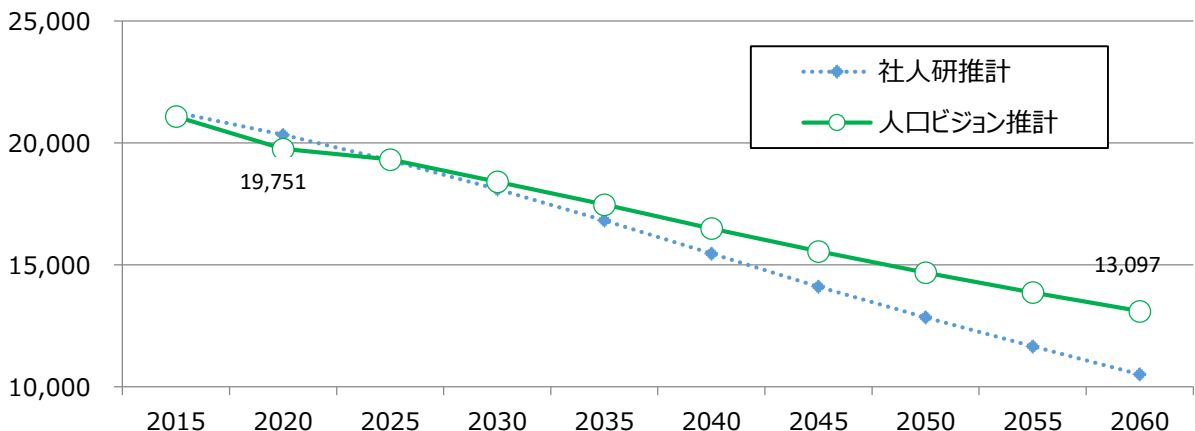
こうした状況の中、平成27年に策定した「川島町人口ビジョン（以下、「人口ビジョン」という。）」では、令和2（2020）年の人口を20,176人と予測しましたが、策定時の見通しよりも減少が進み、令和2年の現状値は19,751人（住民基本台帳 令和2年10月1日現在）となっています。

このような本町の現状を踏まえ、本計画では、人口減少と真摯に向き合った政策を展開するため、人口ビジョンや国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」という。）が推計する将来人口よりもさらに人口が減少することを想定し、令和12（2030）年の推計人口を17,319人とします。

一方、2060年までの長期的な人口の将来展望を示す人口ビジョンは、各種施策の実施による人口流出の抑制や流入人口の増加を期待し、計画最終年の推計人口を、策定時と同様に、社人研の推計を上回る13,097人とします。



川島町人口ビジョン（～2060年）



5 基本構想

4) 川島町の未来へ向けた基盤となる考え方

社会の変化に対応するため、次の取組を町政運営の基盤とします。

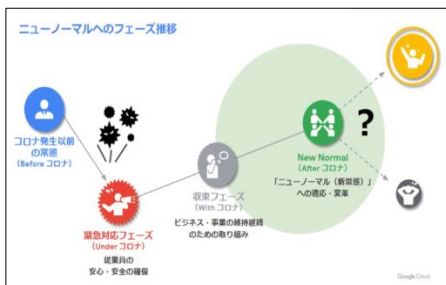
●SDGsの実現に向けた取組の推進

次の世代のことや本町を取り巻く社会情勢の変化などを予測しつつ、長期的、多角的な視点で持続可能で多様性のあるまちづくりを進めます。



●ニューノーマル（新しい生活様式）の推進

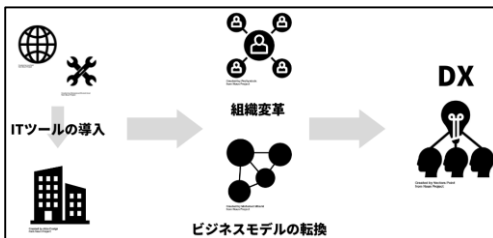
「with コロナ」「after コロナ」時代において、ライフスタイルや価値観の変化などに対応し、ニューノーマルを取り入れた柔軟な取組を推進します。



●デジタル・トランスフォーメーション（※）の推進

行政のデジタル化や生活上の様々な分野におけるデジタル化を推進し、行政サービスの改革に取り組みます。

※ICTの浸透により人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。

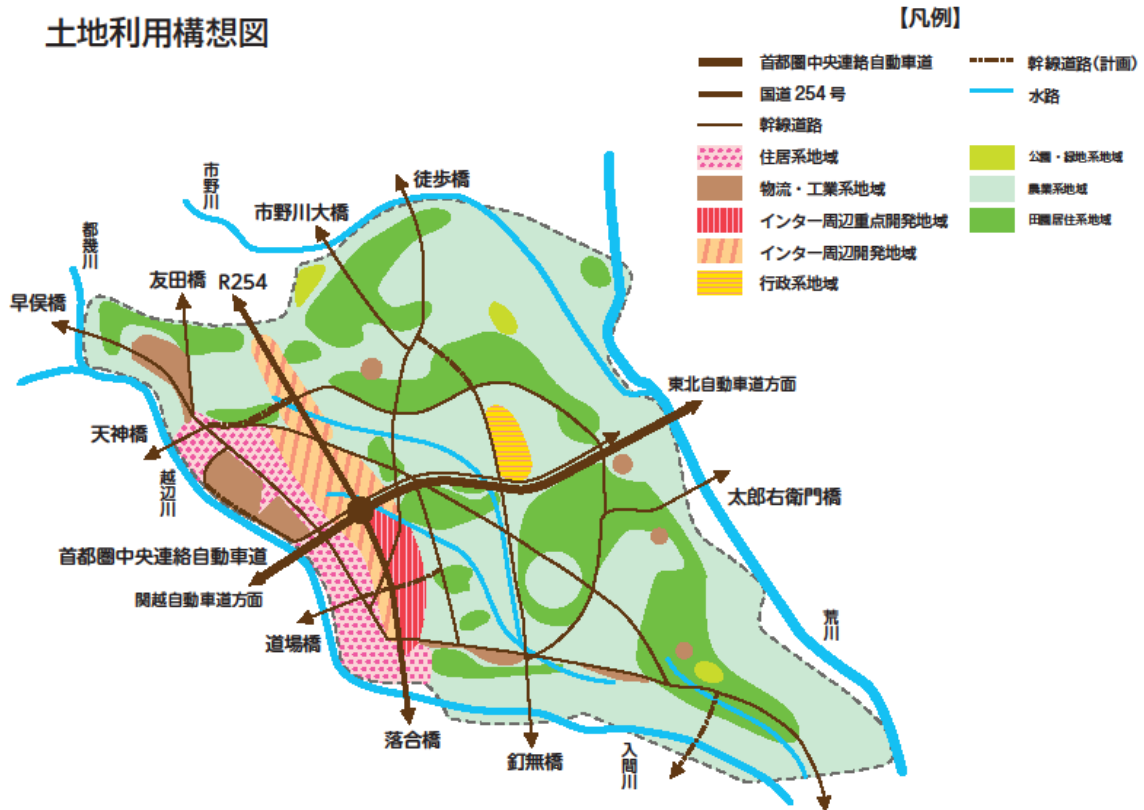


5 基本構想

5) 土地利用構想

本計画における土地利用構想図を次の通りまとめます。

土地利用構想図



①住居系地域

市街化区域の住宅地については、用途地域にあった土地利用を誘導し、低層住宅地として、調和のある緑豊かな住宅地の形成、潤いのある住環境の形成を図ります。

②物流・工業系地域

既存の工業系地域については、既に工場などの立地が図られており、引き続き保全・整備を推進します。また新たな物流・工業区域を、主要道路沿線などへ整備を推進します。

③インター周辺（重点）関連開発地域

首都圏中央連絡自動車道川島インターチェンジ南側地区を重点的に整備し、その他の地区については、計画的に都市的土地利用を図ります。

5 基本構想

④行政系地域

役場庁舎周辺施設の更新・統合等を考慮しながら、今後のまちづくりの核となる地域として、町内外のあらゆる方にとって利用しやすい地域となるよう、総合的な整備を図ります。

⑤公園・緑地系地域

防災機能を有する公園、川や池沼を活用した公園どの整備を図り、新たな開発区域への緑地の確保を図ります。また、既存の公園の充実、既存緑地の保全に努めます。

⑥農業系地域

社会環境などを踏まえ、農業に必要な農地と田園環境を維持するのに必要な農地の保全を図ります。そのため、農地の集約化を図るなど大規模土地利用農業を推進するとともに、町の農業振興地域整備計画に基づき農地の保全を図ります。

⑦田園居住系地域

市街化調整区域内の集落については、良好な景観を維持しているため、環境の保全を図りつつ、周辺環境との調和を図った宅地化を促進します。

⑧河川・水路

四方を囲む河川については、本町の貴重な自然環境であることから、国や県との連携を図りながら、河川改修を促進するとともに、親水空間などとして活図ります。

幹線水路である一級河川の安藤川、横塚川などの整備を進め、水のネットワークを保ちながら内水排除の強化を図るとともに、排水路の整備により、排水対策の充実に努めます。

また、小河川の水質の保全や親水空間としての整備も図り、水路などの整備を併せて推進し、水と緑豊かなまちを形成するとともに、雨水排水対策の充実に図ります。

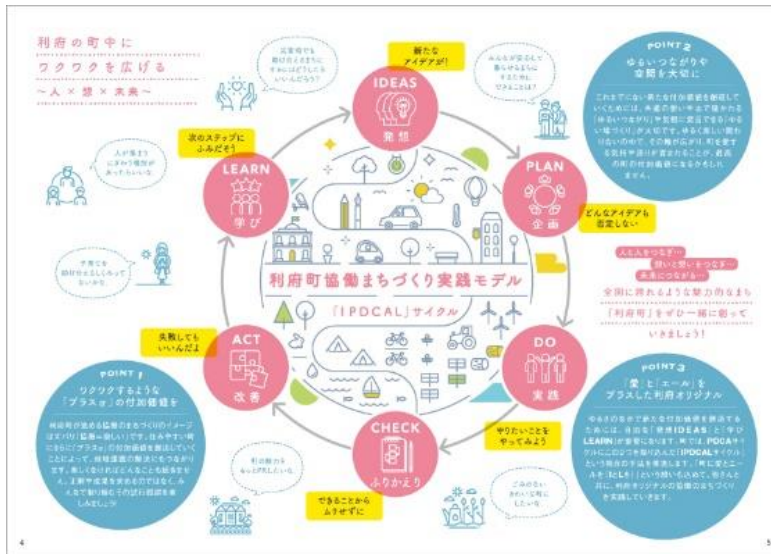
⑨道路

交通量の増大に対応できるようにするため、幹線道路については国道254号、首都圏中央連絡自動車道を骨格として、それにつながる県道の整備・拡充を要請します。

5 基本構想

6) 計画の推進方法

行政と町民、民間企業が一体となってPDCAサイクルを一緒に進めることで、協働のまちづくりを推進します。



協働を表現するイラスト
例：宮城県利府町作成冊子
「協働のまちづくり」

7) まちづくりの柱（戦略目標の設定）

前述の課題や将来像を踏まえ、次の4項目を「戦略目標」として位置付け、まちづくりの核となる取組とします。

1 まもる「未来に続く安全・安心な暮らしをまもる」

国や県との連携により社会基盤を適正に維持・管理し、本町ならではの地域基盤を次の世代に継承し、豊かな自然を将来にわたり伝承します。

2 つなぐ「未来に向けて人と人をつなぐ」

人と人がつながる場を町と町民、民間事業者が協働で充実させ、居心地が良く、住み続けたいくなるまちづくりを進めます。

3 つくる「未来へ輝く稼ぐ地域をつくる」

地域経済の活性化に向けた取組を充実させ、多様で魅力的な産業により雇用を創出し、町の稼ぐ力を向上させます。

4 そだてる「未来へはばたく人財をそだてる」

魅力的な教育・学習環境により町民一人ひとりの生き抜く力を育み、新しい時代で活躍する人財を育成します。

5 基本構想

8) まちづくり総合目標

I 目標の設定

本計画で示す10年間のまちづくりの効果を測定する総合的な目標として、次の評価指標を設定します。

評価指標	住みよいと考えている町民の割合	現状値	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		33.7%	37.0%	40.0%

II 目標の設定理由

社会情勢の変化や加速する技術革新、グローバル化を背景に、現在、日本人のライフスタイルは多種多様化しています。このような時代においては、「物質的な豊かさ」よりも「自分の価値観に合った生き方をする」「暮らしの中でいい時間を過ごす」ことに価値観が変化しています。

このため、本計画では、町民の皆さまが自らの希望に応じた多様な生き方を選択し、本町で「満足する時間を過ごす」「心身ともに充実した生活を送る」ことができるよう、様々なまちづくりの取組を示しています。

こうした取組の成果を測定するため、本町に「住みよいと考えている町民の割合」を評価指標とし、町民の皆さまが心身ともに充実した生活を送っているかを確認していきます。

6 前期基本計画

1) 基本計画の考え方

- 基本計画は、目指すべき方向性、まちづくりの考え方が明確になるよう、戦略目標ごとに体系的にまとめた分野横断的な構成とします。
- 前期基本計画の計画期間は、令和3～7年度の5年間とします。

2) 基本計画の体系（施策大綱）

基本理念	戦略目標	重要施策	主な施策
検討中	まもる 未来に続く安全・安心な暮らしをまもる	①災害に備える環境整備 ②持続可能な循環型社会の実現	自治・コミュニティの振興 消防・防災体制の充実 人権尊重・男女共同参画の推進 交通安全の推進 消費者の保護 健康づくりの推進 福祉のまちづくり 障がい者福祉の充実 高齢者福祉の充実 社会保障の充実 ごみ処理適正化の推進 自然環境と共生するまちづくり 緑あふれる安心空間の整備 安心して暮らすための河川の整備 住みよいまちづくり 上下水道の整備・維持管理 安全に通行できる道路の整備 持続可能な公共交通網の形成 農地保全と有効利用 公共施設の適正な管理 適正な行財政運営の推進
	つなぐ 未来に向けて人と人をつなぐ	①つどいの場の創出 ②新しい自治体コミュニケーションの推進	多文化共生社会の推進 ふれあいの場の充実 いきがいの創出 青少年の地域参加の推進 新しいつながりの創出 文化財の保護・活用及び伝統文化の継承 デジタル化の推進 広域連携の推進
	つくる 未来へ輝く稼ぐ地域をつくる	①川島インターチェンジ周辺整備の推進 ②地域資源の総動員による稼ぐ力の向上	魅力ある土地利用 地域特性を活かした農業振興 活気ある事業活動の推進 地域資源を活かした観光振興 新たな行政サービスの導入 官民連携の推進
	そだてる 未来へはばたく人財をそだてる	①夢を育む新たな学校づくり ②社会を生き抜く人財の育成	新たな生涯学習の推進体制構築 生きる力を育む学校教育の推進 心と体を育む教育環境の整備・充実 多様な学習機会の充実 子育て支援・児童福祉の充実

3) 戦略目標ごとの説明

- 4つの戦略目標の詳細は次の通りです。策定後、事業の進捗により適宜見直しを行いながら施策を推進します。

6 前期基本計画

戦略目標1 まもる 「未来に続く安全・安心な暮らしをまもる」

【現状と課題】

近年増加する甚大な自然災害や著しい社会情勢の変化による影響は、本町においても各所で見受けられます。このような状況の中、誰一人取り残すことなく町民の安全・安心な暮らしを守るため、福祉支援制度や社会生活基盤の整備に取り組みます。

特に、いつ起こるかわからない災害への備えを充実させるため、国や県と連携しながら防災設備の強化を図ります。

また、今ある豊かな自然を守り、未来へ継承するため、資源を適正に循環するための体制整備にも取り組みます。

評価指標	転出意向を持つ人の割合	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		28.2%	23.0%	20.0%

重要施策① 災害に備える環境整備

災害から町民を守るため、避難所をはじめとした防災設備を整備します。

また、大規模水害の際に町外へ避難することが困難な場合に備え、高台避難場所(※)の整備を進めます。

さらに、町民一人ひとりや地域の災害対策への意識を強化し、自らを守る力の向上を図ります。

※大規模な水害時に緊急的に避難する場所。

関連する代表的な計画：川島町地域防災計画、川島町水防計画、川島町国土強靱化地域計画

評価指標	要配慮者確保計画策定率	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値(R12)
		11%	100%	100%

重要施策② 持続可能な循環型社会の実現

将来にわたり持続可能な町であり続けるために、資源が有効に活用された循環型社会(※)の形成に、町民と民間企業、町が一体となって取り組みます。

循環型社会の実現のために、地域における廃棄物の適正処理はもとより、廃棄物処理施設の整備などにより地域環境への負荷の低減を図ります。

※3R (Reduce、Reuse、Recycle)を推進し、環境への負荷を減らす社会。

関連する代表的な計画：川島町環境基本計画、川島町地球温暖化対策実行計画

評価指標	ごみ処理施設整備計画の進捗	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値(R12)
		ごみ処理事業検討開始	ごみ処理事業方式の決定	ごみ処理施設の整備

6 前期基本計画

戦略目標1 まもる 「未来に続く安全・安心な暮らしをまもる」

主な施策1 自治・コミュニティの振興

地域で行われるコミュニティ活動や地域防犯活動などを通して、住みよい暮らしの充実を図ります。

また、社会情勢に合わせ、コミュニティ団体などの柔軟な活動や運営の効率化などへの支援、各関係団体との連携を強化することでコミュニティの活性化を促進します。

評価指標	自治会加入率	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値(R12)
		77%	80%	80%

主な施策2 消防・防災体制の充実

火災や各種災害に対し、未然に被害を最小限に留めるなどの対策を行い、安全・安心な生活環境の推進を行います。

また、地域における自主防災組織（※）の充実を図るとともに、各関係団体との連携を強化し、全体的な防災力の向上を推進します。

※災害時に近隣の人々が互いに協力し合いながら、防災活動に取り組む組織。

関連する代表的な計画：川島町地域防災計画、川島町水防計画、川島町国土強靱化地域計画

評価指標	地域防災リーダーの人数	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値(R12)
		7人	15人	30人

主な施策3 人権尊重・男女共同参画の推進

すべての町民がお互いの人権を尊重しながら、共に生きる社会の実現に努めます。

また、男女が性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮でき、社会のあらゆる分野で参画する機会が確保され、共に責任を分かち合う男女共同参画社会の実現に努めます。

関連する代表的な計画：川島町人権施策基本方針、川島町男女共同参画推進計画

評価指標	人権教育に対する不満足度	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値(R12)
		10.9%	9.7%	8.5%

6 前期基本計画

戦略目標1 まもる 「未来に続く安全・安心な暮らしをまもる」

主な施策4 交通安全の推進

道路反射鏡や道路照明などの交通安全施設の点検を推進するとともに、高齢者や、子ども、歩行者などの安全に配慮した道路交通環境の改善を図ります。

また、交通安全に関する知識の普及・啓発、交通安全教育などを推進します。

評価指標	交通事故発生件数	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値(R12)
		69件	60件	50件

主な施策5 消費者の保護

町民が健全な消費生活を送ることができるよう相談体制の充実を図ります。

評価指標	啓発品設置箇所数	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		1箇所	5箇所	10箇所

主な施策6 健康づくりの推進

すべての町民が、心も身体も健康に生活できるよう、健診や相談及び医療体制の充実、健康維持のための基盤づくりを推進します。

また、町民一人ひとりの健康づくりに対する意識を高め、主体的な健康づくりを推進します。

関連する代表的な計画：川島町健康長寿のまちづくり推進計画

評価指標	町民の健康寿命	現状値(H30)	目標値 (R5)	目標値 (R10)
		男性17.47 女性20.48 ※R2発表	男女とも県内 トップ10位内	男女とも県内 トップ5以内

6 前期基本計画

戦略目標 1 まもる 「未来に続く安全・安心な暮らしをまもる」

主な施策 7 福祉のまちづくり

町民がお互いを理解し尊重し合うことができるよう、福祉に関する教育を充実し、心のバリアフリーを進めます。

また、地域福祉の担い手を育成するとともに、地域福祉活動を行う団体の活動を支援し、地域で支え合う取組の活性化を図ります。

関連する代表的な計画：川島町地域福祉計画

評価指標	福祉ボランティアの人数	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		26人	50人	70人

主な施策 8 障がい者福祉の充実

障がいのある方が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、自立した生活への支援のため、福祉サービスの充実を図ります。

また、地域内の福祉資源を活用し、学習の場の充実、社会参加活動及び就業・就労を促進します。

関連する代表的な計画：川島町障がい者計画、川島町障がい福祉計画、川島町障がい児福祉計画

評価指標	生活支援事業の利用者数	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		131人	135人	140人

主な施策 9 高齢者福祉の充実

介護が必要になっても、誰もが、できる限り住み慣れた地域社会で暮らし続けることができるよう、地域包括支援センター（※）を中心に、医療、介護、介護予防、生活支援などの関係者が連携し、高齢者を地域で支える体制の充実を図ります。

※地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止などを総合的に行う機関。

関連する代表的な計画：川島町高齢者福祉計画、川島町介護保険事業計画

評価指標	後期高齢者健康診断受診率	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		22.3%	35.0%	45.0%

6 前期基本計画

主な施策10 社会保障の充実

介護保険の理念・内容の普及・啓発、適切な運営のため介護サービスの適正給付に努めます。

また、国民健康保険は、特定健診の受診率向上に努めることによる医療費の適正化により、持続可能な運営に向けた取組を推進します。

さらに、国民年金制度の周知を行い、理解を深めてもらえるよう努めます。

そして、生活困窮者支援を推進するため、関係機関と連携し総合的な相談に応じます。

関連する代表的な計画：川島町国民健康保険保健事業実施計画、川島町特定健康診査等実施計画

評価指標	国民健康保険健康診断受診率	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		42.8%	60.0%	60.0%

主な施策11 ごみ処理適正化の推進

町内で発生するごみを抑制するとともに、発生したごみを減量・再資源化することにより、円滑な資源循環の実現を目指します。

また、適正な処理・処分を行い、環境への負荷を減らすことにより、町の豊かな自然環境と安全で快適な生活環境を守ります。

関連する代表的な計画：川島町一般廃棄物処理基本計画、川島町産業廃棄物処理計画

評価指標	ごみ総排出量削減率（H30比）	現状値(R1)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		3%削減	14%削減	20%削減

主な施策12 自然環境と共生するまちづくり

町の望ましい環境像、持続可能な社会の実現に向けて、町民と民間企業、町がそれぞれの役割分担と責任のもと、相互に協力しながら、地球環境の負荷低減、水辺や緑の保全など環境にやさしく人と自然が共生できるまちづくりを進めます。

また、次世代における環境問題解決の担い手となる児童・生徒への環境教育について、より一層の充実を図り、環境にやさしい行動を理解し、実践できる人を育てます。

関連する代表的な計画：川島町環境基本計画、川島町地球温暖化対策実行計画

評価指標	公共施設等におけるCO ₂ 排出量削減率（H28比）	現状値(R1)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		6%削減	9%削減	11%削減

6 前期基本計画

戦略目標1 まもる 「未来に続く安全・安心な暮らしをまもる」

主な施策13 緑あふれる安心空間の整備

安全に公園が利用できるように、適切な維持管理をし、にぎわいのある公園・緑地の整備を進めます。

また、町民が愛着を持って関わることのできる緑化活動などを推進します。

評価指標	公園・緑地整備に対する不満足度	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		23.8%	2.0%	20.0%

主な施策14 安心して暮らすための河川の整備

災害対策として河川の堤防強化を促進するとともに、流下能力や遊水・貯留機能の向上など、治水対策を着実に推進します。

また、小規模河川の水質の保全や、町民の憩いの場としての親水空間（※1）やビオトープ（※2）の整備に努めます。

※1 水や川に触れることで親しみを深める空間

※2 動物や植物が安定して生活できる生息空間

評価指標	用排水路整備に対する満足度	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		13.6%	25.0%	30.0%

主な施策15 住みよいまちづくり

バリアフリー、省エネルギー、耐震対策、空き家の適正管理や利活用など、時代に適合した住宅建設などを促進するとともに、町の景観に適した、誰もが住み続けたいような住宅取得・住環境創出を支援します。

評価指標	住宅リフォーム・耐震等制度利用件数	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		74件	121件	147件

6 前期基本計画

戦略目標1 まもる 「未来に続く安全・安心な暮らしをまもる」

主な施策16 上下水道の整備・維持管理

水道水の安定供給、市街化区域の浸水対策を図るため、管路（※）などの整備や更新を進めます。

また、公共下水道の水洗化率100%を目指すとともに、町内で発生したし尿・浄化槽汚泥は、処理施設で適正に処理を行い、河川などへの環境負荷を低減します。合併処理浄化槽の設置については、普及率の向上と単独処理浄化槽からの転換促進を図りながら、維持管理の徹底により、適正な生活排水対策を推進します。

※水道・下水道管など地下に埋設している専用の管。

関連する代表的な計画：川島町水道事業ビジョン

評価指標	飯島雨水幹線整備進捗率	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		68.5%	71.0%	75.0%

主な施策17 安全に通行できる道路の整備

首都圏中央連絡自動車道と国道254号線を骨格とした利便性の高い交通網を形成するよう、町内の道路整備を計画的に進めます。

また、歩道や交通安全施設の整備など誰もが安全に通行できる道路整備を推進します。

評価指標	幹線町道必要区間における歩道設置率	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		32.9%	33.4%	34.0%

主な施策18 持続可能な公共交通網の形成

バスやタクシーなどの公共交通サービスを将来にわたり持続可能なものとするため、交通事業者と連携しながら効率的な交通ネットワークの構築を進めます。

また、地域内の輸送資源を総動員し、既存の公共交通を補完するサービスの導入を促進します。

関連する代表的な計画：川島町地域公共交通網形成計画

評価指標	公共交通に対する満足度	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		7.4%	10.7%	11.1%

6 前期基本計画

戦略目標 1 まもる 「未来に続く安全・安心な暮らしをまもる」

主な施策19 農地保全と有効利用

営農環境を維持・改善するため、農地中間管理機構による担い手への農地集積を推進し、農地の基盤整備(※1)や農業用水路整備を実施します。

また、農地が保有する多面的機能(※2)が維持発揮されるよう地域活動を支援します。

さらに、農地の保全と有効利用を図るため、農業委員会と連携し遊休農地の発生防止に向けた取り組みを推進するとともに、農地の貸し借りを仲介し、農地の有効利用を図ります。

※1 水田や畑地を区画整理し、農道・排水路・かんがい排水施設の整備などを総合的に行うこと。

※2 洪水防止機能などの様々な役割(機能)。

関連する代表的な計画：川島町農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想、川島町農業振興地域整備計画、川島町田園環境マスタープラン

評価指標	農地集積面積	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		692ha	800ha	850ha

主な施策20 公共施設の適正な管理

人口減少により施設の利用需要が変化していくことや今後の厳しい財政状況を踏まえ、公共施設の適正な運用を図ります。公共施設全体の状況を把握し、長期的な視点による更新・統廃合・長寿命化を計画的に推進します。

関連する代表的な計画：川島町公共施設等総合管理計画、川島町個別施設計画

評価指標	延床面積総量削減率(H28比)	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		1.7%削減	3.0%削減	15.2%削減

主な施策21 適正な行財政運営の推進

社会情勢の急激な変化に対応し、持続可能なまちづくりを推進するため、財源の確保や費用対効果を踏まえた効率的な行財政運営に取り組みます。

また、まちづくりを支える職員については、適正な職員数を維持し、計画的な人材育成を図ります。

さらに、各選挙における公正・公平性を確保するため選挙管理委員会における正確な事務執行を図ります。

関連する代表的な計画：川島町人材育成基本方針、川島町定員適正化計画

評価指標	経常収支比率	現状値(R1)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		85.6%	80.0%	80.0%

6 前期基本計画

戦略目標2 つなぐ 「未来に向けて人と人をつなぐ」

【現状と課題】

日常生活におけるコミュニティは、町民同士が助け合って生活を営む基盤であるとともに、災害時などの安全・安心の確保において重要な役割を担っています。

しかし、近年、少子高齢化の進行に加え、ライフスタイルの多様化により地域コミュニティの希薄化が顕著になっています。

このため、町民同士がつながることができる場を多角的に整備し、居心地の良さや生きがいを感じて暮らすことのできるまちづくりを進めます。

評価指標	まちづくりの町民参加の促進に関する満足度	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		10.7%	15.0%	20.0%

重要施策① つどいの場の創出

ライフスタイルの多様化により地域との関わり方が変化する中、日々の生活に充実感や安心感を与えるコミュニティの形成に取り組みます。

また、地域のあり方の見直しを図り、持続可能な新しいコミュニティの検討を推進します。

関連する代表的な計画：川島町地域福祉計画、川島町教育行政重点施策、川島町生涯学習推進総合計画

評価指標	地域学校協働活動参加者数	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		1,404人	4,752人	5,184人

重要施策② 新しい自治体コミュニケーション（※）の推進

情報媒体の多様化に対応し、町民に効果的に情報を発信するため、新たな情報発信ツールの活用を推進します。

また、協働のまちづくりを推進するため、町民が町に意見を届ける方法を拡充し、効果的・効率的なコミュニケーションを図ります。

※地方自治体と住民・事業者等の間で行われる政策や施策に関する広報・広聴活動。

評価指標	かわじま☆未来塾によるまちづくり活動数	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		40回	100回	150回

6 前期基本計画

戦略目標2 つなぐ 「未来に向けて人と人をつなぐ」

主な施策1 多文化共生社会の推進

多様な文化を受け入れ、共生する意識を深めることで、外国籍の町民が安全・安心に暮らせる環境を整えていきます。

また、地域の国際交流機会の充実を図り、町民のグローバル意識や関心を高めます。

評価指標	町内在住外国人と地域住民との交流事業実施回数	現状値	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		1回	4回	6回

主な施策2 ふれあいの場の充実

町民と協力して各地区に、子どもや障がいのある方、高齢者など地域のすべての方が気軽に集まれる小さな拠点を整備します。町民同士のふれあいによる地域コミュニティの活性化と世代間交流を促進するとともに、地域で支え合う仕組みを構築します。

評価指標	通いの場・小さな拠点の箇所数	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		31箇所	47箇所	57箇所

主な施策3 いきがいの創出

町や町内企業における高齢者や障がいのある方、外国籍の方の雇用を関係機関とともに促進し、働くことによるいきがいの創出を目指します。

また、生涯学習やスポーツ、地域活動に自発的に取り組むことができるよう、活動環境の整備を推進し、誰もが生涯を通じて活躍できる社会を実現します。

評価指標	地域におけるコミュニティ活動への満足度	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		11.1%	16.0%	20.0%

6 前期基本計画

戦略目標2 つなぐ 「未来に向けて人と人をつなぐ」

主な施策4 青少年の地域参加の推進

次代を担う青少年が心身ともに健やかに成長するため、家庭や学校、地域社会が一体となって活動するとともに、活動団体を支援し、推進体制の充実を図ります。

非行防止の推進を図るためのパトロール活動を行い、青少年が地域社会に関わりを持つためのボランティア体験や事業の充実を図り、青少年の社会参加活動を推進します。

評価指標	子育て支援総合センターにおける中高生参加事業数	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		0件	2件	4件

主な施策5 新しいつながりの創出

地域の課題解決や地方創生の推進に向けた裾野を拡大するため、町に多様な形で継続的に関わる「関係人口」を創出・拡大します。

この関係人口を始めとした多様なつながりを促進するため、あらゆる情報媒体を幅広く活用し、積極的な情報共有を図ります。

評価指標	ふるさと納税寄附件数	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		2,616件	5,000件	10,000件

主な施策6 文化財の保護・活用及び伝統文化の継承

文化財を保護・活用し、伝統文化を継承するための「郷土資料館」を設置し、町の歴史・文化を学ぶことにより、郷土を愛し、誇りに思う心を醸成します。

評価指標	郷土資料館来館者数	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		設置準備	250人	500人

6 前期基本計画

戦略目標2 つなぐ 「未来に向けて人と人をつなぐ」

主な施策7 デジタル化の推進

町民の利便性向上や行政運営の効率化を図るため、行政手続きのデジタル化を推進します。情報セキュリティ対策を徹底した上で、行政サービスの改革に取り組み、デジタル・トランスフォーメーションの実現を図ります。

関連する代表的な計画：川島町DX推進計画

評価指標	マイナンバーカード交付率	現状値	目標値（R7）	目標値（R12）
		21.1%	100.0%	町民サービスに対する満足度向上

主な施策8 広域連携の推進

国や県からの権限移譲を推進し、町の自立性を高めることで行政運営の効率性を高めます。

また、近隣自治体との連携を強化し、効果的・効率的な事業の実施を図ります。

さらに、社会情勢の変化に対応した新たな連携について研究を進めます。

評価指標	広域連携による事業数	現状値(R1)	目標値（R7）	目標値（R12）
		16事業	20事業	25事業

6 前期基本計画

戦略目標3 つくる 「未来へ輝く稼ぐ地域をつくる」

【現状と課題】

本町における産業振興は、長年基幹産業として位置付けられてきた農業をはじめ、首都圏中央連絡自動車道川島インターチェンジ周辺地区開発による企業誘致など、社会情勢の変化に伴う多角化が進んでいます。

町の持続的な発展のためには地域経済の活性化が不可欠です。町の特性を活かし、倒産品や農地など地域資源の総動員による「稼ぐ力」のさらなる向上に向け、官民が連携した魅力的なビジネスの創出に取り組みます。

評価指標	町内総生産額	現状値(H30)	目標値 (R5)	目標値 (R10)
		90,614百万円 ※R2発表	90,800百万円 ※R7発表	91,000百万円 ※R12発表

重要施策① 川島インターチェンジ周辺整備の推進

首都圏中央連絡自動車道川島インターチェンジを有する立地優位性を活かし、地域経済の活性化と雇用創出の核となる企業集積の基盤として、川島インターチェンジ南側地区の整備・拡充を推進します。

また、企業誘致を積極的に推進するとともに、関係自治体との連携を図り、地域産業全体の強化につなげます。

関連する代表的な計画：都市計画マスタープラン

評価指標	工業用地の拡大面積(R2基準)	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		約90ha	約35ha拡大	約69ha拡大

重要施策② 地域資源の総動員による稼ぐ力の向上

町内に点在する地域資源を最大限に活用し、相乗効果の発揮による地域経済の活性化を図ります。

また、かつての基幹産業である農業を再興するため、スマート農業(※)の導入などにより農業の効率化を図り、経済性の向上を図ります。

※IoT（モノのインターネット）やAI（人工知能）などを活用した次世代型農業。

評価指標	地域商社会員数（個人・法人）	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		設立準備	400	650

6 前期基本計画

戦略目標3 つくる 「未来へ輝く稼ぐ地域をつくる」

主な施策1 魅力ある土地利用

無秩序な開発を抑制し、住宅地、商業地、工業地、公園、緑地など計画的に土地利用を行い、魅力あるまちづくりを進めるとともに、川島インターチェンジ周辺についても、効果的な土地利用を図ります。

関連する代表的な計画：川島町都市計画マスタープラン

評価指標	工業用地の拡大面積	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		約90ha	約35ha拡大	約69ha拡大

主な施策2 地域特性を活かした農業振興

新たな担い手となる、認定新規就農者（※）や農業参入を目指す企業などの効率的かつ安定的な農業経営の実現のため、農地集積、生産現場での先進技術の活用支援などを実施します。

また、特産品のブランド化などに向けた取組を支援するとともに、観光農園の整備などにより、農業と触れ合う機会を提供します。

※就農希望者のうち、農業経営基盤強化促進法に基づき市町村から就農計画の認定を受けたもの。

関連する代表的な計画：川島町農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想、川島町農業振興地域整備計画、川島町田園環境マスタープラン

評価指標	新規就農者認定数	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		1人	3人	5人

主な施策3 活気ある事業活動の推進

民間企業や団体が円滑に事業活動を展開できるよう、産業基盤の整備や販路開拓などの経営支援を実施し、地域商工業の活性化を図ります。

また、関係機関と連携し、人材育成・求人ニーズの円滑なマッチングなど町の産業活力を支える人材の確保に努めます。

評価指標	商工会会員数	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		505	555	605

6 前期基本計画

戦略目標3 つくる 「未来へ輝く稼ぐ地域をつくる」

主な施策4 地域資源を活かした観光振興

平成の森公園を中心とした地域資源の整備や周遊ルートの開発を進めることで町内の回遊性を高め、交流人口の拡大及び消費を促進します。

また、観光振興やまちづくりを推進する団体の設立や、先導的な人材の育成・確保に取り組めます。

評価指標	交流人口	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		50,000人	70,000人	90,000人

主な施策5 新たな行政サービスの導入

I C Tを活用した新たな行政サービスを導入し、町民の利便性向上や業務改善を図ります。

また、町で保有する施設などでの新たなテクノロジー活用を推進し、新しい価値の創出に取り組めます。

関連する代表的な計画：川島町D X推進計画

評価指標	行政事業への新たな技術導入数	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		計画策定	3件以上	10件以上

主な施策6 官民連携の推進

社会情勢の急激な変化に伴う行政需要の多様化に対応するため、民間企業の知見や資源を活かした官民連携によるまちづくりを推進します。多種多様な連携手法に積極的に取り組み、官民の共通課題の達成を図ります。

評価指標	PPP/PFI事業検討数	現状値(R1)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		1件	3件	事業実施数 1件

6 前期基本計画

戦略目標4 そだてる「未来へはばたく人財をそだてる」

【現状と課題】

グローバル化や情報化、少子高齢化などの社会の急激な変化に伴い、高度化・複雑化する課題に対応できる人材が求められています。

このことから、今後の新しい時代を生き抜くことができる力を育むため、学校や家庭、地域が連携し、新たな考え方を取り入れた魅力的な教育・学習機会の充実を図ります。

また、子どもや家庭を支える仕組みを充実させ、子育てがしやすいまちづくりの推進にも力を入れていきます。

評価指標	各種講座・教室参加者数	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		651名	720名	790名

重要施策① 夢を育む新たな学校づくり

子どもたちが夢と希望を持って学ぶことができるよう、学校規模の適正化を踏まえた新しい学校づくりを推進します。

また、子どもたち一人ひとりに対応したきめ細かな学習を充実させるため、小中一貫校の開校に向けた環境を整備します。

関連する代表的な計画：川島町教育大綱、川島町教育行政重点施策、川島町立小学校規模適正化計画

評価指標	小中一貫教育校計画の推進	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		検討開始	事業計画決定	事業着手

重要施策② 社会を生き抜く人財の育成

未来を見据え、新技術を活用した教育を推進し、社会生活を送るために必要な能力・資質、そして町への愛着を持った子どもを育てます。

また、誰もが自らの人生を充実させることができるよう、大人世代の学習機会の拡充にも取り組みます。

関連する代表的な計画：川島町教育大綱、川島町教育行政重点施策、川島町立小学校規模適正化計画、川島町生涯学習推進総合計画、川島町子ども・子育て支援事業計画

評価指標	埼玉県学力・学習状況調査全学年・全科目平均点以上科目数 (小学校) 4・5・6年2科目 (中学校) 1年2教科、2・3年3科目 合計 14科目	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		3/14科目	8/12科目	全科目

6 前期基本計画

戦略目標4 そだてる「未来へはばたく人財をそだてる」

主な施策1 新たな生涯学習の推進体制構築

少子化、高齢化、地域コミュニティの弱体化により、地域社会を維持していくための地域の力が衰退傾向にあります。そのため、地域活動センター（※1）や総合型地域スポーツクラブ（※2）が核となり、地域内外の団体とのネットワークを構築し、多様な学習、スポーツ、地域活動等を創出するとともに、それらの諸活動を通じた地域づくりに取り組みます。

※1 仮称。町民の交流など地域活動の拠点。

※2 多世代・多種目・多志向の特徴を持ち地域住民により主体的に運営されるスポーツクラブ。

関連する代表的な計画：川島町教育大綱、川島町教育行政重点施策、川島町生涯学習推進総合計画

評価指標	総合型スポーツクラブ会員数	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		116名	180人	300人

主な施策2 生きる力を育む学校教育の推進

児童・生徒一人ひとりに合わせた質が高く、きめ細かい学校教育を推進することで、志を高く持ち、町の未来を支える児童・生徒を育成します。

関連する代表的な計画：川島町教育大綱、川島町教育行政重点施策、川島町立小学校規模適正化計画

評価指標	中学生英検取得率	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		45.0%	60.0%	70.0%

主な施策3 心と体を育む教育環境の整備・充実

教育環境の整備・充実を推進することで、全ての児童・生徒に対し、教育における切れ目ない支援を行い、豊かな心と健やかな体を育みます。

関連する代表的な計画：川島町教育大綱、川島町教育行政重点施策、川島町立小学校規模適正化計画

評価指標	学校応援団数	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		12人	15人	30人

6 前期基本計画

戦略目標4 そだてる「未来へはばたく人材をそだてる」

主な施策4 多様な学習機会の充実

各種団体と連携して「学ぶ楽しさに出会える」魅力的な生涯学習、スポーツ講座や文化芸術に親しむ機会の充実を図ります。

また、「今、学ぶべき地域課題」である自然災害、多文化共生、つながりの希薄化など、持続可能な地域社会づくりに資する学習を推進するため、社会教育の拡充を図ります。

関連する代表的な計画：川島町教育大綱、川島町教育行政重点施策、川島町生涯学習推進総合計画

評価指標	各種事業を実施することができ る人材の人数	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		15人	18人	21人

主な施策5 子育て支援の充実

子どもを安心して産み育てるための体制整備やサービス・経済的支援の充実を図ります。

また、子育てに関する悩みの相談体制や児童虐待防止のための関係機関との連携などを強化し、児童の健全育成を図ります。

さらに、多様なニーズに対応できるよう、保育サービスの向上に向けた保育園の民営化や保育士の資質向上、就学前教育などに取り組み、保育の充実を図ります。

関連する代表的な計画：川島町子ども子育て支援事業計画

評価指標	子育て支援総合センター来館者数	現状値(R2)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
		3,129人	7,000人	9,000人

7 資料編

1) 策定経過

令和2年度

4月1日	明治大学政治経済学部 西村弥ゼミナールと第6次川島町総合振興計画策定に係る共同研究開始（令和2年度）
4月16日	職員プロジェクトチーム「川島町未来創造プロジェクトチーム」キックオフ
6月3日	明治大学政治経済学部西村弥ゼミナールによる職員インタビュー調査①
6月10日	明治大学政治経済学部西村弥ゼミナールによる職員インタビュー調査②
6月17日	明治大学政治経済学部西村弥ゼミナールによる職員インタビュー調査③
6月24日	明治大学政治経済学部西村弥ゼミナールによる職員インタビュー調査④
6月26日	第1回川島町未来創造プロジェクトチームミーティング
7月1日	明治大学政治経済学部西村弥ゼミナールによる職員インタビュー調査⑤
7月4日	第1回かわじま☆未来塾
7月8日	明治大学政治経済学部西村弥ゼミナールによる職員インタビュー調査⑥
7月15日	明治大学政治経済学部西村弥ゼミナールによる職員インタビュー調査⑦
7月16日	第1回川島町総合振興計画審議会
8月8日	第2回かわじま☆未来塾
8月27日	議会全員協議会にて第5次川島町総合振興計画後期基本計画評価について協議
9月5日	第3回かわじま☆未来塾
9月9日	明治大学政治経済学部西村弥ゼミナールによる議会議員へのインタビュー調査
9月19日	第4回かわじま☆未来塾
9月24日	第2回川島町未来創造プロジェクトチームミーティング
	総合振興計画策定のための町民アンケート実施
9月30日	第2回川島町総合振興計画審議会
10月17日	第5回かわじま☆未来塾

7 資料編

10月22日	第3回川島町未来創造プロジェクトチームミーティング
11月14日	第6回かわじま☆未来塾
11月30日	第3回川島町総合振興計画審議会
12月9日	議会全員協議会にて第6次川島町総合振興計画骨子（概要）について協議
12月19日	第7回かわじま☆未来塾
12月23日	明治大学政治経済学部 西村弥ゼミナールによる共同研究成果発表
2月25日	第4回川島町未来創造プロジェクトチームミーティング
2月26日	かわじま☆未来塾から町長へ第6次川島町総合振興計画への提言書を提出
3月2日	第4回川島町総合振興計画審議会
3月16日	議会全員協議会にて第6次川島町総合振興計画骨子について協議
3月17日	第6次川島町総合振興計画骨子策定

令和3年度

4月1日	明治大学政治経済学部 西村弥ゼミナールと第6次川島町総合振興計画策定に係る共同研究開始（令和3年度）
4月22日	川島町未来創造プロジェクトチーム 指標設定研修①
4月28日	川島町未来創造プロジェクトチーム 指標設定研修②
5月11日	第1回川島町未来創造プロジェクトチームミーティング
6月1日	第6次川島町総合振興計画骨子に係る町民コメント実施
6月15日	議会全員協議会にて第5次川島町総合振興計画評価について協議
6月23日	第1回川島町総合振興計画審議会
	※以降継続

2) 川島町総合振興計画審議会

- 川島町総合振興計画審議会条例、名簿を掲載します。
- 町からの諮問、審議会からの答申文書をそれぞれ掲載します。

7 資料編

3) SDGs施策対応一覧

○本計画掲載施策とSDGsの各ゴールとの関連を下図のとおりまとめます。
(アイコン説明掲載予定)

	1 貧困	2 飢餓	3 健康	4 質の高い教育	5 ジェンダー平等	6 清潔な水と衛生	7 エネルギー	8 働きがい	9 産業、イノベーション、インフラ	10 人や国の不平等	11 住み続けられるまちづくり	12 消費の持続可能性	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸域生態系	16 平和と正義	17 パートナーシップ
まもる																	
災害に備える環境整備	○				○	○						○		○			
持続可能な循環型社会の実現	○	○					○		○		○	○	○	○	○		
自治・コミュニティの振興	○										○						○
防災・防災体制の充実	○				○	○					○		○				
人権尊重・男女共同参画の推進	○				○					○	○					○	
交通安全の推進			○								○						○
消費者の保護												○					
健康づくりの推進		○	○														
福祉のまちづくり	○		○														
障がい者福祉の充実	○	○	○					○		○	○						
高齢者福祉の充実	○	○	○					○		○	○						
社会保障の充実	○	○	○		○			○		○							
ごみ処理適正化の推進						○	○		○		○	○	○	○	○		
自然環境と共生するまちづくり				○		○	○						○	○	○		
緑あふれる安心空間の整備						○	○				○		○		○		
安心して暮らすための河川の整備			○			○		○		○	○	○	○	○			
住みやすいまちづくり			○				○		○		○				○		
上下水道の整備・維持管理	○					○			○		○	○		○			
安全に通行できる道路の整備		○	○						○		○		○				
持続可能な公共交通網の形成			○						○		○		○				
農地保全と有効利用	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○		
公共施設の適正な管理							○		○		○		○			○	
適正な行財政運営の推進	○				○					○	○	○	○			○	○
つなぐ																	
つとめの場の創出	○				○						○						○
新しい自治体コミュニケーションの推進	○										○					○	○
多文化共生社会の推進	○									○	○					○	
ふれあいの場の推進	○		○								○						
いきがいの創出	○		○	○				○									
青少年の地域参加の推進	○		○	○				○									
新しいつながりの創出	○							○	○		○						○
文化財の保護・活用及び伝統文化の継承				○				○			○						
デジタル化の推進	○							○			○						
広域連携の推進			○			○					○		○	○	○		○
つくる																	
川島インターチェンジ周辺整備の推進			○					○	○		○	○					
地域資源の総動員による稼ぐ力の向上		○						○	○		○						
魅力ある土地利用	○		○						○		○		○	○	○		
活気ある市街地の整備			○						○		○						
地域特性を活かした農業振興		○						○	○		○	○	○	○	○		
活気ある事業活動の推進								○	○		○	○					
地域活動を活かした観光振興								○	○			○					
新たな行政サービスの導入	○							○	○		○	○					
官民連携の推進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
そだてる																	
夢を育む新たな学校づくり	○		○	○	○		○			○		○	○				○
社会を生き抜く人材の育成	○		○	○				○	○			○					
新たな生涯学習の推進体制構築	○		○	○													
生きる力を育む学校教育の推進	○		○	○							○		○	○			
心と体を育む教育環境の整備・充実	○		○	○													
多様な学習機会の充実	○		○	○	○												
子育て支援・児童福祉の充実	○		○	○	○						○						